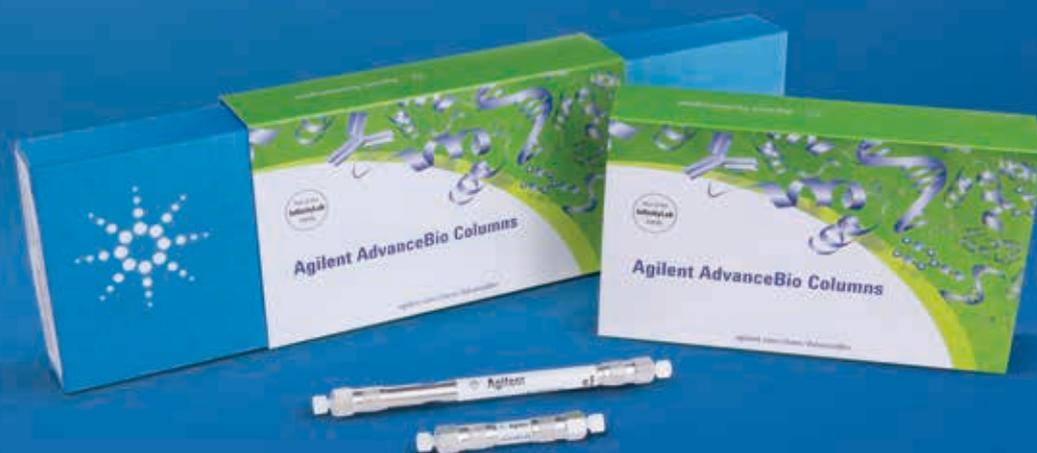
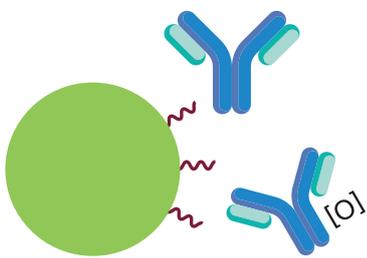
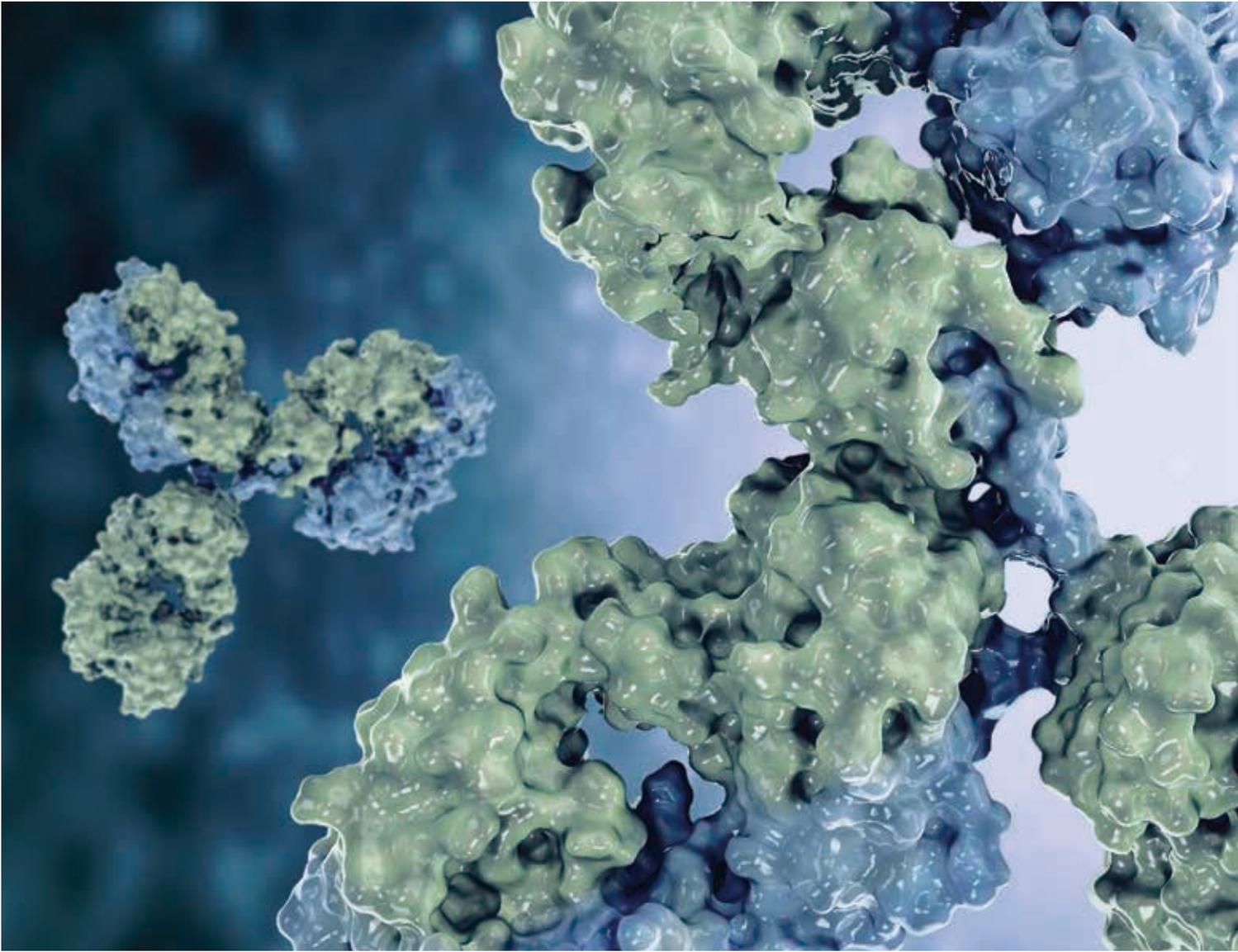


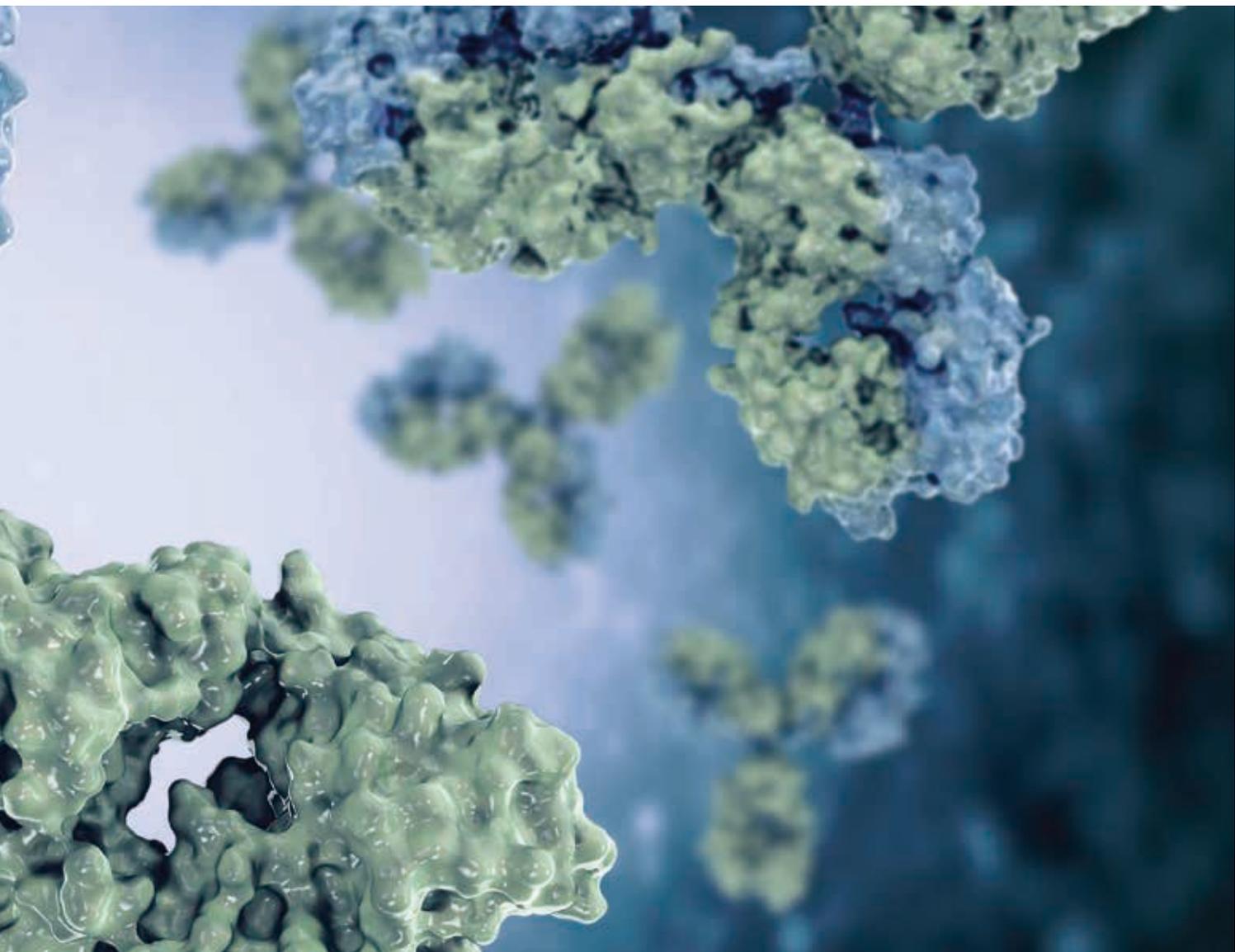
インタクトプロテインの 堅牢な疎水性相互作用クロマトグラフィー

Agilent AdvanceBio HIC カラム





分析困難な生体分子の
分離に対応した設計

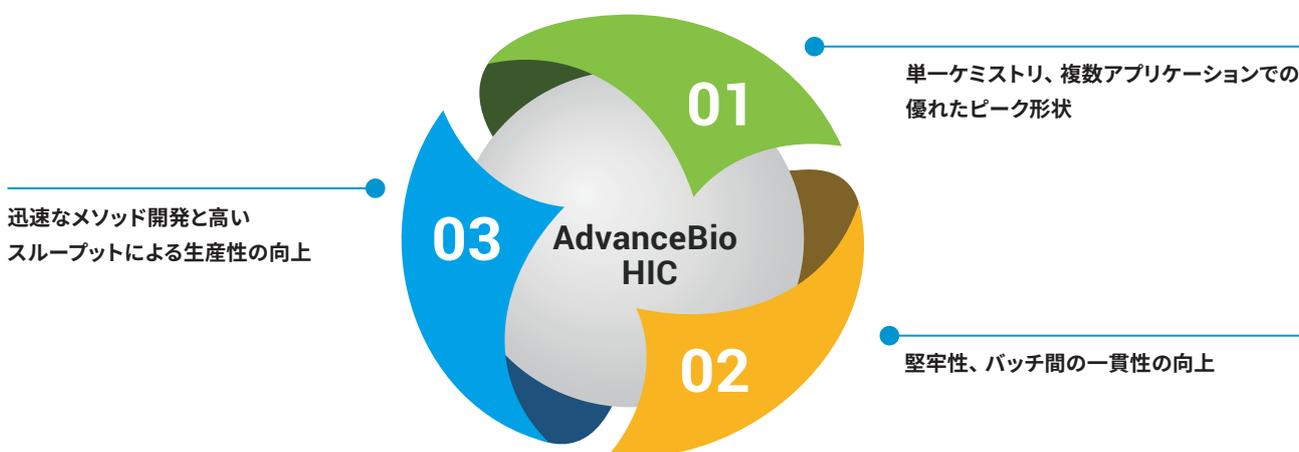


疎水性相互作用クロマトグラフィー (HIC) は、疎水性のわずかな違いに基づくタンパク質変異体の分離に最適な手段です。HIC は変性条件で実行される逆相クロマトグラフィーとは異なり、塩と緩衝液のみを含む水溶性溶離液で実行されるため、タンパク質を未変性の状態に維持できます。

これが、AdvanceBio ファミリーの最新製品である本カラムの最大の特長です。

タンパク質性医薬品の重要品質特性 (CQA) を インタクトレベルで分離する優れた性能

AdvanceBio HIC カラムは、モノクローナル抗体 (mAbs)、抗体薬物複合体 (ADC)、
その他の遺伝子組み換えタンパク質など、特に分析困難な分子向けに開発されています。

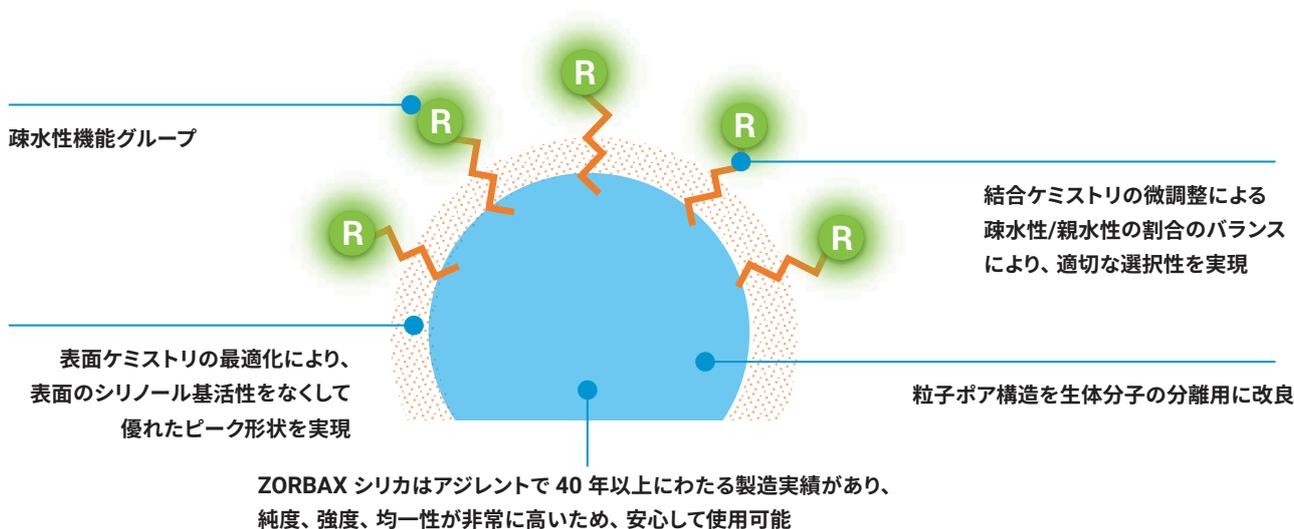


単一ケミストリ	堅牢性の向上	生産性の向上
<ul style="list-style-type: none">- 独自の結合技術により複数のカラムスクリーニングが不要- ケミストリの最適化による優れたピーク形状と低背圧	<ul style="list-style-type: none">- 安定したケミストリプロセスの最適化- 一貫した性能を発揮できる設計- カラム寿命の向上- 試験済みの効率的なパッキング	<ul style="list-style-type: none">- 分析の速度と性能を両立- 短いカラムにより全体的な分析時間を短縮- すべてのカラムバッチについて NIST mAb 標準でテストし、品質と信頼性を確保

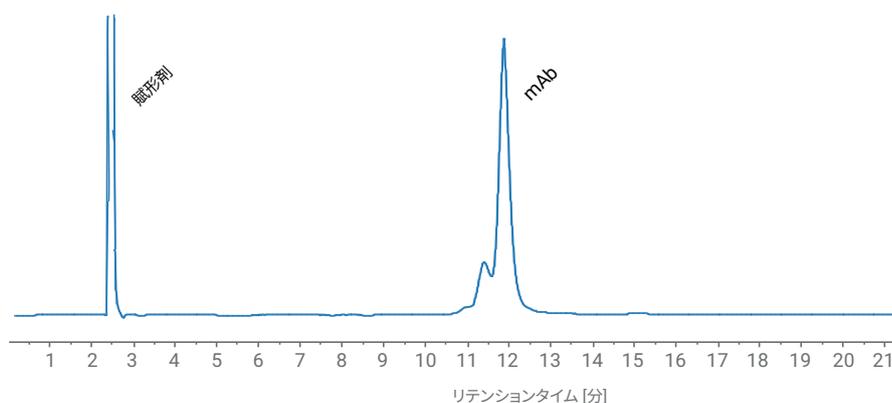
単一のケミストリで複数のアプリケーションに対応

ポアサイズ 450 Å、3.5 μm の AdvanceBio HIC カラムには ZORBAX の全多孔質粒子機能と独自の結合技術が組み込まれており、疎水性と分解能が優れています。

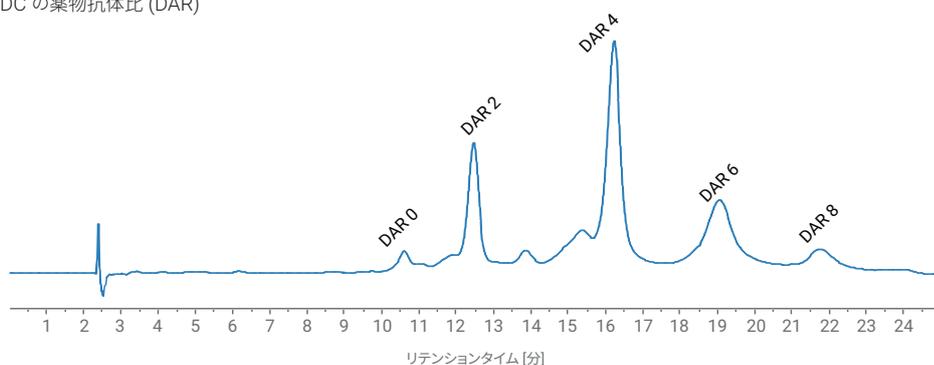
最適化された新しい疎水性相互作用ケミストリによる優れた選択性と堅牢性



mAb とその酸化変異体の分離



ADC の薬物抗体比 (DAR)



ラボの品質管理ニーズに合わせた 堅牢性の強化



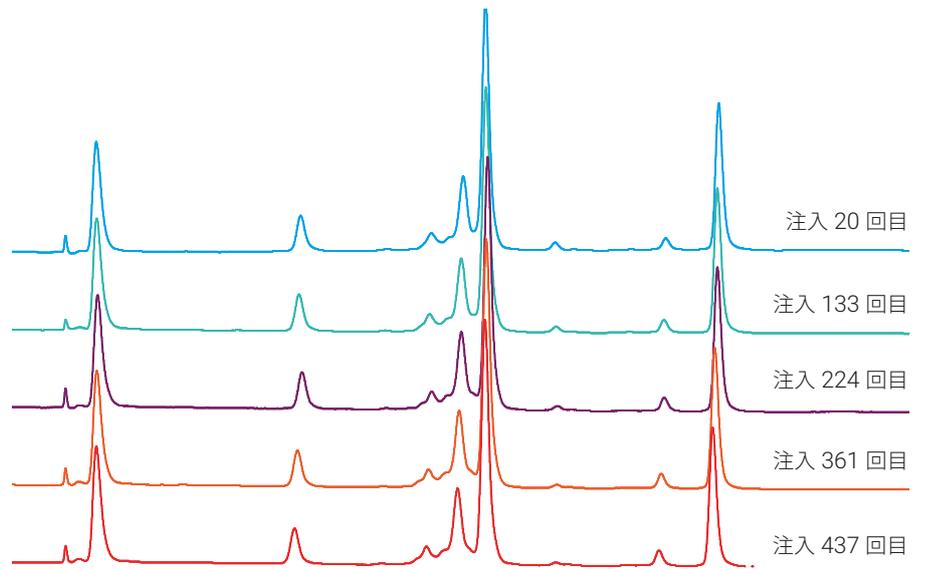
アジレント製ならではの堅牢な分離性能

アジレントの研究者は、カラム製造プロセス（粒子設計、結合、カラム充填剤）の段階ごとに堅牢性を設計しています。生産プロセス全般と最終的な製品 QC で試験が実施されるため、生産される充填剤バッチとカラムはすべて厳しい分析要件を満たすことができます。



分析間の再現性

400 回以上の注入で、一貫した性能と高い注入間再現性を実現



バッチ間の品質管理

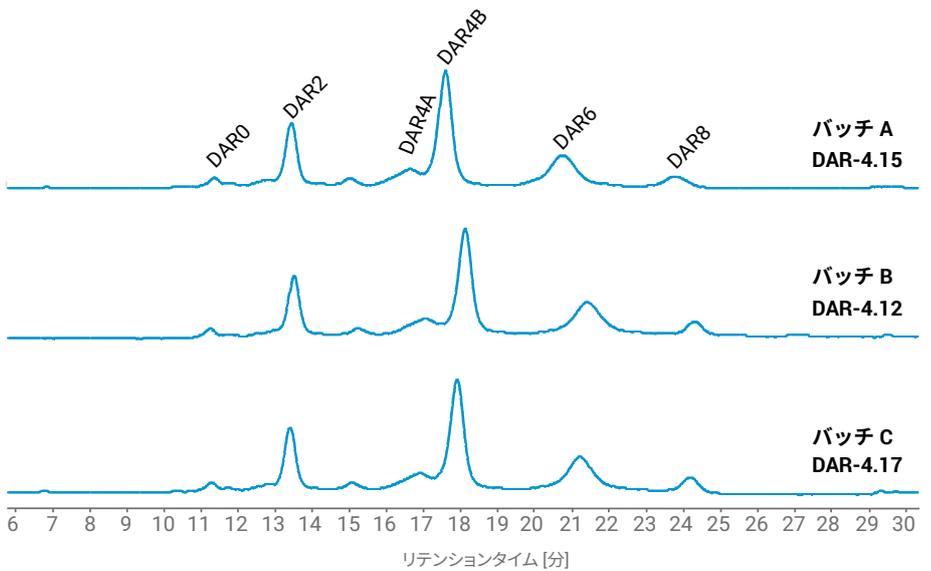
優れた性能。
すべての充填剤バッチについて NIST mAb 標準でテストし、品質と信頼性を確保

	テーリングファクター	ピーク幅	RT 比
バッチ 1	1.04	0.390	1.959
バッチ 2	1.04	0.379	1.891
バッチ 3	1.08	0.402	1.866
バッチ 4	1.10	0.403	1.859
バッチ 5	1.01	0.406	1.792
% RSD	3.40	2.85	3.22

注意: RT 比 = IgG 抗体の IgG 抗体/キモトリプシンテーリングファクターとピーク幅を測定

アプリケーションのワークフロー

アジレントのカラム、消耗品、データ分析ソフトウェア、バイオイナート機器を組み合わせることで、きわめて高い性能を実現



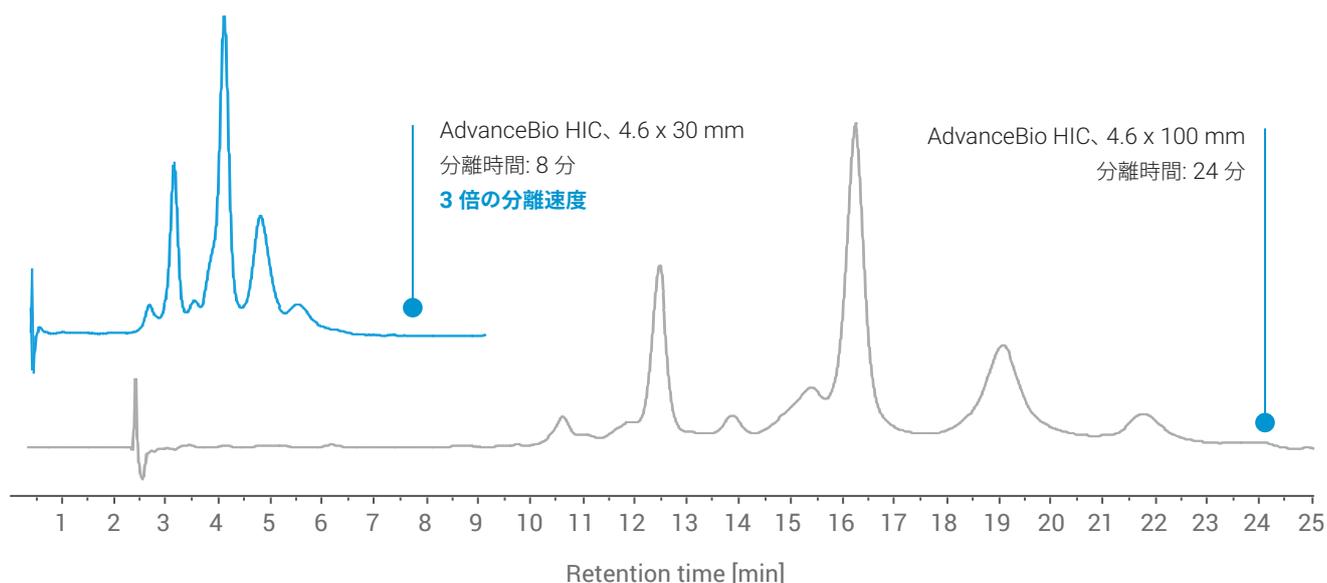
生産性の向上



分析ニーズに適したカラムオプション

AdvanceBio HIC カラムなら、あらゆるラボのニーズに対応できます。例えば、期限内にデータを取得して重大な決断を下す必要があるスピードを求められるラボにも、検証済みメソッドを用いて常に正確なデータの提供が求められる規制対象ラボにも適しています。2種類のカラム長が用意されており、100 mm はルーチン分析に、30 mm は高速分析に適しています。

ADC の高速分離によるスループットの向上



カラム:	AdvanceBio HIC、4.6 x 30 mm			AdvanceBio HIC、4.6 x 100 mm			機器:	Agilent 1260 Infinity II バイオイナート LC システム		
	時間 (分)	%A	%B	%C	時間 (分)	%A	%B	%C	ソフトウェア:	Agilent OpenLab CDS
グラジエント:	0	50	45	5	0	50	45	5	流量:	1.0 mL/min、0.5 mL/min
	5	0	75	25	20	0	75	25	溶離液 A:	2 M 硫酸アンモニウム、50 mM リン酸ナトリウム、pH 7.0
	10	0	75	25	25	0	75	25	溶離液 B:	50 mM リン酸ナトリウム、pH 7.0
	15	50	45	5	30	50	45	5	溶離液 C:	プロパン-2-オール
	20	50	45	5	40	50	45	5	温度:	30 °C
									注入量:	5 µL
									検出:	UV、220 nm

AdvanceBio HIC

単一ケミストリ

- 適切なカラム数
- 効率的なスクリーニング回数

堅牢なケミストリ

- バッチ間のばらつき低減
- 適切な選択性

分析時間の短縮

- スループットの向上
- コストの削減

向上したカラム寿命

- ダウンタイムの短縮
- 再検証の必要性の低減

製品情報

Agilent AdvanceBio HIC カラム

製品	部品番号
AdvanceBio HIC、4.6 x 100 mm、450 Å、3.5 µm	685975-908
AdvanceBio HIC、4.6 x 30 mm、450 Å、3.5 µm	681975-908





ラボを総合的にサポートするソリューション

Agilent InfinityLab ファミリー

AdvanceBio カラムは Agilent InfinityLab ファミリーの製品です。InfinityLab ファミリーの液体クロマトグラフィー機器、質量選択検出器、カラム、消耗品は、組み合わせて使用することで最大限の性能を発揮します。

InfinityLab 製品と Agilent OpenLab ソフトウェアおよび Agilent CrossLab サービスをあわせてご利用いただくことで、日々の生産性をさらに高めることができます。

InfinityLab 機器、カラム、消耗品

Agilent InfinityLab バイオイナート LC ソリューションと Agilent AdvanceBio カラム (InfinityLab ファミリー) を組み合わせると、生体分離能が大幅に高まります。さらに Agilent InfinityLab バイオイナート消耗品を使用することで、生体分子分析の性能と効率が格段に向上します。

アジレントのワークフローとインタクトタンパク質分析

アジレントは、お客様が絶対の確信をもって分析データを生成し、急速に変化する市場のニーズに応えることのできるシステム、ソフトウェア、サービス、消耗品を提供しています。



サービスとサポート

Agilent
CrossLab
From Insight to Outcome

Agilent CrossLab は、革新的なラボサービス、ラボ用ソフトウェア、消耗品の分野で業界をリードし、重要かつ実用的な付加価値を、経済的成果、運用上の成果、科学的成果へと導きます。

詳細については、こちらをご覧ください。 www.agilent.com/crosslab/jp/

ソフトウェアおよびインフォマティクス

Agilent
OpenLab

Agilent OpenLab ソフトウェアを介して制御されている InfinityLab LC シリーズ機器は、データの処理、確認、レポート作成に要する時間を短縮することによって、バイオ分析 LC ワークフローを最適化する取り組みをサポートします。



ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

カスタムコンタクトセンター

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、
医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。
本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに
変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社
© Agilent Technologies, Inc. 2018
Printed in Japan, August 20, 2018
5991-9180JAJP